

時期	書かれた手紙	出来事	記述箇所
A.D.29		イエスの十字架と復活	
A.D.32		ダマスカスへの道でパウロが改宗。アラビヤに3年滞在	使徒9:1-23/ガラ1:17-18
		バルナバがパウロをエルサレム教会に紹介	使徒11-12
		パウロがタルソ(地元)よりエルサレムに来る	
A.D.47		パウロの1回目の伝道旅行(A.D.47-48)	使徒13:1-14:28
		ヨハネ・マルコが伝道旅行から離れる	
A.D.49	ガラテヤ人への手紙(南ガラテヤ説による)	エルサレムでの評議会	使徒15:1-35
		パウロの2回目の伝道旅行 (A.D.50-52)	使徒15:36-18:22
A.D.50-52	ガラテヤ人への手紙(北ガラテヤ説による)		
		シラスとパウロが監獄に入れられる。真夜中の地震で脱出	使徒16:16-40
		テサロニケで暴徒により町から追い出される	使徒17
A.D.51-52	1・2テサロニケ人への手紙	コリントでアクラ、プリスカとテントを作る	使徒18:1-17
A.D.53-57		パウロの3回目の伝道旅行(A.D.53-57)	使徒19:1-21:16
A.D.55or56	1コリント人への手紙	エペソにて3年の滞在	使徒20:31
A.D.56or57	2コリント人への手紙		
A.D.57	ローマ人への手紙	エルサレムでのパウロに対しての暴動。その裁判でローマでの再裁判(上告)を求める	使徒21:17-23:35
		ペリクス、フェリス、Festus アグリッパ王の前で弁明。	使徒24:1-26:32
A.D.60		ローマへの旅	使徒27:1-28:16
A.D.61	エペソ人への手紙(A.D61-62?)	ローマでの軟禁生活(A.D61-63)。たくさんの訪問者に伝道	使徒28:17-31
	コロサイ人への手紙(A.D61-62?)		
	ピリピ人への手紙(A.D62-63?)		
	ピレモンへの手紙(A.D61-63?)		
A.D.63	1テモテ・テトスへの手紙	ローマの軟禁から解放⇒西へ伝道旅行	
A.D.64,7月18-23日		ローマの大火	世界史
A.D.67-68	2テモテへの手紙	再投獄・殉教	世界史

<参考>パウロ自身が語る自伝：使徒22:1-21